

# Library

町生涯学習センター図書室からの2月のおすすめ図書

## Library Information

### 図書室からのお知らせ

#### ■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 2月14日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

### 平安時代、差別に挑んだ誇り高き者たちの物語 今村 翔吾著 / 『童の神』



角川春樹事務所

小説

平安時代、「童」と呼ばれる者たちがいた。彼らは、鬼、土蜘蛛、山姥などと呼ばれ、京人からさげすまれていた。一方、父と故郷を奪った京人に復しゅうを誓った越後生まれの桜暁丸は、さまざまなお会いを経て、童たちとともに朝廷軍に決死の戦いを挑むが…。魅力的な登場人物たちの、差別に挑む誇り高き生き様に胸が熱くなる物語です。

### 5人の女子アスリートの感動ノンフィクション 田中 充編 / 『カーリング女子』



汐文社

児童書

ピョンチャン冬季オリンピック。日本代表のLS北見のメンバー、本橋麻里・吉田知那美・鈴木夕湖・藤澤五月・吉田夕梨花は、結成8年目での初のオリンピック出場で、日本カーリング史上初の銅メダルを獲得した。長く苦しい戦いを励まし合って乗り越えてきた、5人の女子アスリートたちの足跡を描く感動のノンフィクションです。

### 個性派俳優がつづる骨髄提供体験記

木下 ほうか著 / 『僕が骨髄提供をした理由』



辰巳出版

一般書

はじめは「献血」だった。俳優の木下ほうかがつづる骨髄提供体験記。入院から退院までの4日間を、写真を交えて伝えるとともに、現在の骨髄バンクの現状と問題にも触れています。分かりやすいQ & Aも掲載。骨髄提供時のことが事細かに書かれていて、ドナー登録、骨髄提供について改めて考えるきっかけとなる1冊です。

### 次世代へ伝えたい日本料理のすばらしさ 鈴木 登紀子著 / 『ばあばの100年レシピ』



成美堂出版

教養娯楽

「お料理の才覚があれば、どんなときでも心豊かに暮せます。」ばあばこと、日本料理研究家の鈴木登紀子さんが、日本料理のすばらしさを若い人に伝えたいという切なる思いから生まれた1冊。NHK「きょうの料理」への出演40年を超える著者が、おひたし、お吸い物、煮物といった日本料理の定番のレシピや、四季の献立を紹介しています。

### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

**作**者は14歳の女の子。史上初、小学4年、5年、6年生時に3年連続で「12歳の文学賞」大賞を受賞。好きな作家は志賀直哉と吉村昭。このたび5編からなる連作短編集で小説デビュー。という情報のみで、「どれどれ、どんな物語かしら…」と、かる～い気持ちで読み始めたのですが、最初の5ページですっかり引き込まれてしま

### 今月の案内人



村上 律子さん  
〔緑町区〕

い、最後の一行を目と鼻をティッシュで拭きつつ読み終わりました。

主人公は小学6年生の田中花実。

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

## 私のおすすめ図書

『さよなら、田中さん』(鈴木 りか著)

田中花実は小学6年生。ピンボーな母子家庭だけれど、花実とお母さんを中心とした日常を、時に可笑しく、時にはホロッと泣かせる筆致で描ききる。

豪快なお母さんと2人で「ピンボーな母子家庭」を明るくたくましく生きています。この母娘の日常が、作者ならではの瑞々しい感性で生き生きと楽しく描かれています。それだけでなく、どうにもならないそれぞれの現実や、時に不安定にゆがむ幼い心、さらに「メシを食べて今を生きる」というシンプルで力強いメッセージがあり、「あ～、続編が読みたい」と切に思

わせてくれました。

年齢を問わず、たくさんの方に読んでいただきたい1冊です。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

## Public Hall

### 町公民館からのお知らせと話題

#### ▶町公民館からのお知らせ

#### 第22回甲佐町公民館大会

##### ●開催日時

3月2日(土)  
午前9時10分 開会

##### ●会場

町生涯学習センター・ホール

##### ●実践発表

西寒野区自主防災活動事例発表  
こうさんもん元気活動推進事業  
の発表

##### ●講演

・講師 熊本県教育委員会  
井芹護利社会教育課長

町内公民館関係者および町民の皆  
さんの多くのご参加をお待ちして  
います。

#### ●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)

#### 町公民館主催講座 スワッグ作りにも挑戦

12月20日(木) 町農業研  
修センター「ろくじ館」で  
「シニア世代の講座」で正  
月飾り「スワッグ」作りに  
挑戦しました。

講師は、フロアリストの  
村上光治さん(下豊内区)。



▲講師の村上さんにアドバイスをもらいながら制作

毎年人気の講座で、20人が受講しました。スワッグとは、しめ飾りをアレンジしたおしゃれな

飾りです。松、シダ、松ぼっくり、キンカンなどをベースのしめ縄にワイヤーで留めていきます。しっかりと固定しないとずれ落ちたりするので、なかなか思い通りにいかず講師の村上さんにアドバイスをもらい仕上げていきました。それぞれの個性が出て素敵なスワッグが出来ました。

#### 町公民館自主講座

#### 児童がたこ作り

1月7日(月)「くるみクラブ」(放課後児童健全育成クラブ)で、たこ作りをしました。

お正月の遊びを体験してもらうため、児童16人が挑戦。手軽に短い時間でできるように、ビニール袋とストローを使ったたこを、説



▲参加した児童は熱心に凧を作りました

明に沿って1つずつ自分のちで作り上げていきます。1年生が分からないときは上級生が手伝いながら、仲

良く進めました。

作り終わると全員で運動場に出て、たこ揚げをしました。自分のたこを大空に飛ばそうと運動場いっぱい走り、着ている上着を脱いで楽しみました。風に乗ってたこが揚がるたびに大声で「揚がった、揚がった」と喜んでいました。

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### ■もし自分が家族や当事者であったら、と考えたことがありますか？

ハンセン病とは、感染力が極めて弱い細菌による感染症です。現在、日本での感染・発症は実質的にゼロといえます。すぐれた治療薬により、障がいを残すことなく外来治療で完治します。後遺症として外見上の変形が残る場合があるため、いつまでも病気のままだと思われがちですが、完治後に感染することはありません。

#### Q1 どんな課題がありますか？

●病気やハンセン病回復者等に対しての偏見や差別  
患者の隔離を定めた「らい予防

法」は平成8(1996)年に廃止されましたが、90年にも及ぶ誤った施策により、社会の中に強められた偏見や差別は根強く残されています。

本県においては、国立療養所菊池恵楓園の入所者に対するホテル宿泊拒否事件が起きた際に、被害者であるはずの入所者自治会に対して、誹謗・中傷の手紙やFAXが多数送り付けられました。

#### ●隔離政策により起きた人権侵害

- ・ハンセン病患者を県からなくす「無らい県運動」が、官民一体となって行われました。
- ・ハンセン病療養所内において、退

所も外出も許可されず、職員不足などを補うため、看護、耕作などの作業を強いられました。

- ・療養所長に懲戒検束権が与えられ、所内に監禁室が設置されました。
- ・裁判が、ハンセン病を理由に裁判所ではなく、特別法廷で行われました。
- ・療養所内で、結婚の条件として断種や人工妊娠中絶が行われました。
- ・家族に対する偏見や差別を恐れ、療養所内では偽名を名乗ることを余儀なくされました。

～熊本県人権情報誌

「ココロ通信 vo1.36」より～